

交流のひろば

おたより コーナー

中国の魅力に

興味津々です

広瀬町二丁目 宮下 孝子 60

ニイハオ、こんにちほ。わたしの子どもより若い先生のあいさつで、受講生二十人の和やかな講座「中国を知ろう」が、一月三十日から上川淵公民館で始まりました。わたしは中国からの帰国者が近くにいたのでその人とほんの少しでも話ができた

まちのニュース NEWS

出前講座で 防火を学ぶ

高花台二丁目

高花台二丁目では、三月二十四日に同町中央集会所で防火講習会を行いました。この講習会は、「まえばし出前講座」の一つで、住宅防火対策を学習するものです。

参加者は、まず屋外に設置された煙体験ハウスの中に入り、煙に

らと思い、申し込みました。

中国は、五十六民族が同じ領土に住み、国土は日本の二十六倍、人口十三億人の大国です。日本文化の源で、四千年の歴史を持った国。そして、「中国の女性は天の半分を支える存在」という国の現状に、とても興味を持っています。

第一回は中国語の発音の要点、あいさつ、感謝の言葉、ハッピーバースデーなどを習いました。また、先生の家族のことや、先生が留学を決意して日本語を勉強した様子、来日してからの食生活の話をお聞きしました。どれも楽しい話で、笑いのうちに時間が終わりました。

一回目以降の予定は、中国の家庭料理作りや中国大使館の見学など、とても楽しみにしています。

巻かれた場合の対応の仕方を体験。続いて、消火器を使って消火訓練が行われました。一人ひとりが、訓練用の消火器を使って挑戦。消火器に対する参加者の関心は高く、消防署職員丁寧な説明に聞き入っていました。その後、ビデオで防火対策のポイントが上映され、火災の怖さをあらためて知らされた様子でした。

同町の塚越弘自治会長は、「日常生活の中で、防火意識はどうしても薄れがちです。講習会を実施することで、もう一度防火を自分たちの責任として、真剣に考えてもらいたいです」と話していました。



まえばしの動物植物 ②5

カントウタンポポ

市自然環境保全推進委員

片山 満秋



春です。タンポポの花があちこちに見られます。花は百個ほどの小さな舌状花が集合した物です。

カントウタンポポは、花の基部を包む緑色の総苞外片が直立しています。長さは内片のほぼ半分で、その先に角状突起があります。本市にはその突起のない、またはごく小さいエゾタンポポが多いようです。変異性が大きく、栽培していてもわずかずつですが変化します。

本市では総苞外片が反り返った帰化種のセイヨウタンポポや、西日本から進出した在来種のシロハナタンポポも見ることが出来ます。